



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2026 年 度

N o . 1 9

2 0 2 6 年 9 月 9 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

2 0 2 6 平 和 行 動 i n 根 室

北 方 領 土 (択 捉 島 、 国 後 島 、 色 丹 島 、 歯 舞 群 島) の 早 期 返 還 !
日 口 平 和 条 約 の 締 結 を !

連合は、6月の沖縄、8月の広島・長崎における平和行動のほか、終戦後に旧ソ連・ロシアに不法占拠・実効支配された北方領土の返還を求める根室での平和行動を毎年9月に開催している。

2026平和行動in根室は、9月5日に北方四島学習会、翌6日に2026平和ノサップ集会在開催され、JR連合からは上村良成会長、谷口昌隆組織・政治局長のほか、JR北労組、JR九州労組の仲間が参加した。



北方四島学習会では、北方四島事業船「えとぴりか」において、「北方四島の自然と領土問題」「海から見た北方領土問題」と題する講演を受けた。

納沙布岬・望郷の岬公園で開催された2026平和ノサップ集会上において挨拶した連合の神保政史事務局長は、「北方四島の早期一括返還と日口平和条約の締結による真の平和の実現に向けて粘り強く取り組む」と決意を明らかにした。また、来賓として根室市長らが出席し、感謝と連帯の言葉が述べられた。国後島出身の元島民からは、故郷を思う切実な願いが訴えられた。



最後に、「2026年8月のプーチン大統領による択捉島訪問はロシアによる実効支配を誇示するような行動であり、断じて容認できない」「北方領土問題が解決するその日まで、粘り強く運動を継続していく」ことを力強く宣言した集会アピールを採択し、参加者全員の決意が込められたガンバロウ三唱で2026平和行動in根室は幕を閉じた。